

2024 Information

※各行事は予定です。必ずホームページで日時をご確認ください。

学校説明会

[第1回] 4/20(土) 10:00~12:00

[第2回] 8/2(金)

[第3回] 11/9(土) 10:00~12:00
過去入試問題勉強会も開催

[入試直前説明会] 1/13(月・祝)
10:00~12:00
総合・グループワーク型入試体験も開催

個別学校見学会

[第1回] 5/20(月)~6/7(金)

[第2回] 8/5(月)~8/30(金)
期間中の平日のみ実施

オープンスクール

[夏] 6/22(土) 10:00~12:00

[秋] 10/12(土) 10:00~12:00

体験入試

12/15(日)

帰国生対象相談会

8/22(木) 10:00~12:00

行事

[体育祭] 5/10(金)

[校内英語弁論大会] 6/21(金)

[ヨゼフ祭(学園祭)] 9/15(日)・16(月・祝)

HP・SNS

WEB サイト
<https://www.st-joseph.ac.jp/high>

Facebook
<https://www.facebook.com/stjosephgakuen>

YouTube
<https://youtube.com/@user-oq1fn5id5n>

Instagram
<https://www.instagram.com/stjosephgakuen>

 聖ヨゼフ学園中学・高等学校

〒230-0016 横浜市鶴見区東寺尾北台11番1号
TEL 045-581-8808 FAX 045-584-0831

Access



JR鶴見駅西口、東急新横浜線新綱島、東急東横線菊名、JR新横浜-新川崎、川崎駅西口より臨港バス【二本木】下車
JR横浜駅、川崎駅西口、東神奈川駅より国道一号线市営バス【東寺尾路橋下】下車

St. Joseph's

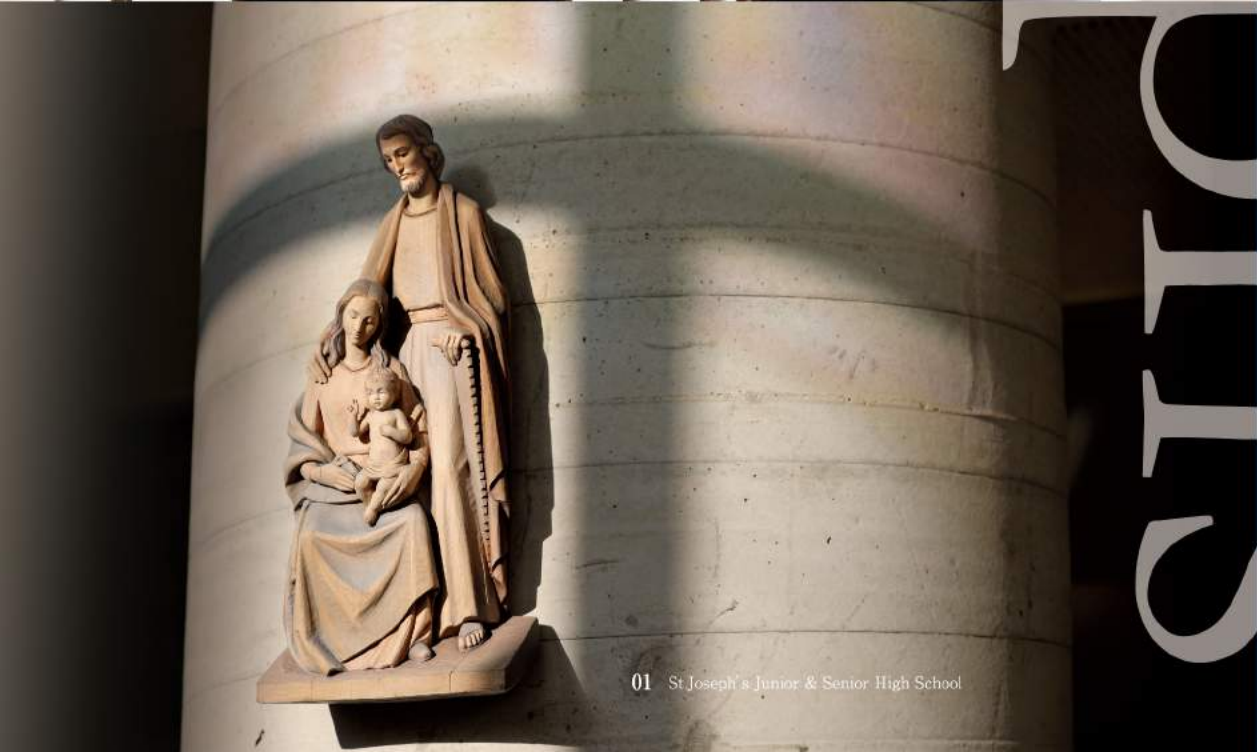
Junior & Senior High School



 聖ヨゼフ学園中学・高等学校

School Guide 2025

国際バカロレア
MYP 認定校



“時を越える愛のこころ”

世界の和解と一致を掲げるポール・ワトソン神父の思いは、今の時代だからこそ、大切に受け継がれ広めていかなければなりません。初代校長の勝野巖神父が聖ヨゼフ学園で大切に伝えてきたその「愛」は、時を越えてなお、私たちのこころに強く受け継がれています。

信 望 愛

信仰・希望・愛の力によって一人ひとりが生かされていくようにこの三つの力（徳）を「信・望・愛」の校訓として掲げています。

学園の教育方針

1. カトリックの教えに基づき、愛の心を涵養する。
2. 知性、徳性を高め、心身を鍛え、社会に貢献する人を育てる。
3. 神にいただいた個々の賜物に気づき、生かそうとする姿勢を育てる。



2023年11月、聖ヨゼフ学園中学校は、IB（国際バカロレア）MYP（中等教育プログラム・Middle Years Programme）認定校になりました。



学園の基本精神

学校法人アトメント会は戦後の荒廃した社会状況の下、1953（昭和28）年、鶴見聖ヨゼフ小学校開校にあたり、普遍的な価値判断ができる人を育てる教育を目指し、「信・望・愛」を建学の精神と定めました。信（神を信じ）・望（神の約束の実現を希望し）・愛（神の愛ゆえに神を愛し、人々を愛する）とは、神に愛された私たちが、キリストと一致して、この世を生きるために、神が与えてくださる徳＝生きる力です。私たちは、この建学の精神に基づき、幼稚園から高等学校に至る教育を展開しています。それは「信・望・愛」によって生きる人こそが、この混沌とした時代に希望の光をもたらし、愛をもって互いに支えあい、この世界に和解（アトメント）と平和をもたらすと確信するからです。



理事長・学園長
平松 達美

今こそ創立当初の思いに立ち返るとき

聖ヨゼフ学園は昨年、創立70周年を迎え、2024年度は次の節目に向けた新たな一歩を歩む年となります。70年前の日本は、まだ戦後間もない混沌とした時代でした。初代校長の勝野巖神父は「カトリックの教えに基づいた、普遍的な価値判断を持ち、真の平和と人々の幸福を創り出す人になって欲しい」という願いから、この学園を創立しました。それから71年たった今も、世界では紛争や対立が絶えません。今こそ、創立当初の思いに立ち戻って、平和とは何か人々の幸福とは何かを考えるべき時代になってきているのかもしれない。誰もが神様からかけがえのない命をいただいています。また、同時に才能や能力といった賜物（タラント）もいただいています。これは自分も他者も等しくいただいているものです。互いを理解し、尊重しあうことで真の平和と人々の幸福を実現できるのだと考えています。そのためにこれからも変わらず、個に応じた教育を進めて参ります。



中学・高等学校 校長
多田 信哉

インタビュー動画をご覧いただけます





信 Faith

カトリック精神に基づく全人教育。
宗教教育を通じて、自分を知り、他者を知り、
世界を知っていきます。

■ 教育目標

よく学び努力する人、知恵のある人

- ・ 誠実に学び、自己の可能性を広げる。
- ・ より高い価値の実現をめざし、知識を知恵に高めるように努力する。

いのちを喜び、感謝と奉仕の心を持って生きる人

- ・ 自分のよさを受け止め、いのちを与えられたことに感謝する。
- ・ いのちを尊重する心と生活姿勢を持つ。
- ・ 感謝にもとづいた真の奉仕の心を持つ。
- ・ 良心の勧めに従って行動できる強い意志をもって生きる。



〈 宗教教育 〉

宗教の授業

現代世界にみられる対立や紛争、人々の不安を解消するために、お互いの存在を大切にしながら理解し合い、助け合っていくアトメントの精神を学び、豊かな心を育みます。



学びのねらい

全学年、週に1時間ずつ「宗教」の授業があります。すべての学年を通して、神様からいただいた賜物をしっかりと受け止め、隣人を大切にしながら世界につながっていく神の愛について学んでいきます。

〈 宗教の授業 〉

- 中1 キリスト教の基礎知識・『旧約聖書』を学ぶ
 - 中2 『新約聖書』を通してイエスの生涯を学ぶ
 - 中3 『新約聖書』から「イエスの死と復活」「弟子たちの宣教」について
 - 高1 世界の宗教、それらを土台としたさまざまな文化・絵画・映画などを考察する
 - 高2 長崎に関連するキリスト教（修学旅行）、平和学習
 - 高3 神の愛と自己受容・6年間を振り返って
- (2023年度実施例)

修養会

年に1回、すべての学年において「修養会」が行われます。神父様やシスター方の講話をうかがいながら、静かな修養の時を過ごします。各学年のテーマに沿って自分自身を見つけるとともに、仲間との分かち合いを行います。

〈 修養会のテーマ 〉(2023年度実施例)

- 中1 「かけがえない『わたし』」
- 中2 「心の旅」
- 中3 「奉仕の心を育てよう～いのちへの共感～」
- 高1 「わたしにできること」
- 高2 「仕合わせとは？」
- 高3 「愛」



生命尊重学習会

「修養会」と同様、全学年において年1回、「生命尊重学習会」の時間が設けられています。学年ごとに音楽療法士、看護師、NPO法人の責任者など、各界で活躍されている講師を迎え、生命の尊厳と人間としての生き方を学びます。

〈 生命尊重学習会のテーマ 〉(2023年度実施例)

- 中1 「子どもから大人へ」
- 中2 「異性」
- 中3 「しあわせになるために」
- 高1 「生きるってシアワセ！」
- 高2 「いのち」
- 高3 「愛」

宗教行事

カトリック教会に基づいた宗教行事が学年を越えて行われます。



聖母奉獻式



クリスマス



信者の集い



ミサ

Teacher Message

Student Message

誰に対しても差別や偏見を持たない愛のある人になってほしい

宗教部 太田絵美先生

聖ヨゼフ学園では中学1年生から高校3年生まで、週に1時間必修で宗教の時間があります。そのほかにも毎年学年ごとに神父様やシスターからの講話を聴く修養会や、外部から講師をお招きして講話していただく生命尊重学習会なども実施しております。決して、すべての人にキリスト教の信者になっていただくことがゴールではありません。宗教の教えを身近なものとして捉え、生徒の皆さんには宗教教育を通して愛のある人になってほしいと考えています。誰に対しても差別や偏見を持たずに接してほしいですし、常に相手の立場になって考えることのできる人になっていくと嬉しそうです。

様々な発見や気づきができるいい機会

高校2年 Tさん

生命尊重学習会では、チャイルドラインの方のお話もありました。とてもお話をしやすい雰囲気ですし、困っていることや親や友達にも言えないことを相談できるのはとても安心だなと感じました。何かあった時にもこういった場所もあるのだということも知れて、とてもいい機会だと思います。

つらい時や苦しい時の心のよりどころに

高校2年 Kさん

私も信者ではありませんが、常日頃1秒1秒神様に祈っているわけではありません。自分が苦しい時や、つらい時の心のよりどころとして、神様という存在があるという感じがしています。信者でない人も信者の人も変わらずお互い普通の友達としてともに過ごしているの、ぜひ気軽に考えないで欲しいと思います。



インタビュー動画がご覧いただけます





Hope

〈主体的な学び〉

すべての教科において、知識をインプットするだけでなく、得た知識を活かして探究し、その考えた内容を発信する機会を多く設けています。すべての担当教員が、一人ひとりの発信を丁寧に分析し、適切で有用なフィードバックができるよう心がけています。



〈IB・MYP 認定校〉

中学校では、MYPの8つの教科群に文部科学省の定める教科をあてはめます。教科群を横断的に捉え、教科内容と実社会との関連性への認識を高められるように学んでいます。



〈高校コースの新設〉

高等学校では、総合進学コース・アドバンスト・イングリッシュ(AE)コースに加えて、昨年度より新たにインクワイアリーベースト・ラーニング(IL)コースが新設されました。







望 玉 Hope

生涯学び続ける人となるために、探究的な学びや発信型の授業を通し、主体的に学ぶ力を育みます。



学習の特徴

中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年	
<p>「生涯学び続ける人」になるための、探究的な学びの実践</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>Step 1</p> <p>8つの教科分野での探究活動を通じて専門知識の理解を深める</p> <ul style="list-style-type: none"> 国語(言語と文学) 社会(個人と社会) 数学 技術・家庭(デザイン) 音楽・美術(アート) 理科 保健体育 英語(言語の習得) </div> <div style="text-align: center;"> <p>Step 2</p> <p>実社会で応用可能な学び、(スキル、知識、視点)を身につける</p> <ul style="list-style-type: none"> 「概念」(コンセプト)を基盤とする指導 学習スキルの習得 国際的な視野の育成 </div> <div style="text-align: center;"> <p>Step 3</p> <p>学びのまとめと振り返りを通して、生涯学習者としての成長を実感する</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科の枠をこえた学び 学びの報告会 奉仕活動プロジェクト </div> </div>			<p>総合進学コース General Course</p>  <p>小規模校ならではの特性を活かし、少人数制によるきめ細かな指導を実施しています。一人ひとりの学習進度に寄り添い、基礎から応用まで幅広くサポートしていきます。</p>	<p>ILコース Inquiry-based Learning Course</p>  <p>主体的なプロジェクト型・発信型の学びを通じて、「世界の諸問題を他人事とせず自らの課題として積極的に捉え、人々の真の平和と幸福を創り出す人」となるための『実践』を行い、生涯学び続ける姿勢を養います。</p>	<p>AEコース Advanced English Course</p>  <p>英語科目においては「自他の良さを認め合い、学び続けるCommunicatorの育成」を目標に、All Englishの授業で「話す・書く」の発信型の能力を中心に、「聞く・読む」の力も総合的に伸ばします。</p>	<p>生徒一人ひとりの進路に最適化した学びの実践</p> 

人々の真の平和と幸福を創り出す人へ



〈 国語 〉

中学1年生

Unit1「自分が影響を受けた作品から自分自身を知ろう！」

生徒作品

1. 自分が影響を受けたと思う作品を挙げる。
2. そのうちの1つをクラスの人に紹介。(みんなに自分自身を知ってもらおう)
3. それらの作品からどのような影響を受けて、今の自分ができあがっているのかを考える。
4. その考えた内容を1枚のポスターにまとめる。(自分で自分自身を知る)



〈 アート美術 〉

中学2年生

Unit2「記憶の展覧会」

導入：「絵画と記録」をテーマに西洋美術史をたどる。

1. 様々な遠近法の表現を学び、実践する。
2. 絵画のなかで、作者の個人的な経験はどのように反映されているのかを考える。絵画の構成要素を分解し、作品内の表現とその効果の関係を捉える。
3. 様々な画集を鑑賞し、自作の参考資料を探す。遠近法の使用法、塗り方や技法、色彩の組み合わせのアイデアを探る。
4. 自身が表現したいテーマを特定し、アイデアシートを用いて表現の仕方を模索する。
5. 作成したアイデアシートをもとに、他者との意見交換を経て多角的な視点を養う。再度、自身が表現したいテーマと表現法をまとめ、明確に提示する。
6. 遠近法を用いて、個人的な体験や視点を他者と共有するために、アイデアの実践をする(水彩画制作)。
7. 学習経験を踏まえ、自分の作品や自分の学びについて振り返り、評価する。
8. 相互鑑賞会にて、他者の表現を尊重し作品のよさを楽しむ。

Student Message 自身の気持ちを色で表現する

「記憶の展覧会」のユニットは、自分の思い出のある風景を絵に残すというものでした。私は4年ぶりに再会した沖縄の友達と、海で撮影した写真を風景面にしました。沖縄から帰る前だったので、友達と別れなければならない悲しさを青色で表現しました。実際の色とは違って、気持ちを表現することで、人に伝わる絵になることに気づくことができました。

中学3年Nさん

インタビュー動画がご覧いただけます



学びの実践

ライバルは過去の自分。生涯学び続ける人になるために

「自分で考えて行動し、振り返りを通じてまたさらに考え行動する」
他者との比較ではなく過去との比較、さらに未来への学びの構築。
「本当の学び」がここにはあります。

〈 英語 〉

中学2年生

Unit1「My Dream」

1. 現在世の中にある職業について調べ、今後発展しそうな職業について自分で考える。
2. 職業体験プログラムに参加するという設定の本文や、その出来事をまとめた登場人物のスピーチを読み、スピーチの構造や必要な単語・文法を学ぶ。
3. 学んだスピーチの構造を活かして、My Dreamというスピーチを行い、自分の将来の夢や将来やりたいことについて考える。さらに、スピーチとエッセイの違いを意識しながら、将来の夢についてのエッセイを書く。



Student Message

様々な国に行きたいという夢を英語で表現する

「My Dream」というユニットは、学習した文法を元に、自分の夢に関するスピーチをするという内容でした。私は、将来いるある国に行きたいという夢についてスピーチしました。日本語でも難しいことを英語でどう表現すればいいかわからないことも多くありましたが、先生の添削やクラスメイトの内容も参考にしながら完成させました。学習を通して、自分の思いを英語で表現する力がついたと思います。

中学3年Kさん

インタビュー動画がご覧いただけます



〈 数学 〉

中学2年生

Unit5「標本調査 アトリウムのタイルを数えよう！」



1. 「標本調査」の知識を用いて、タイルの総数を数える方法を考える。
2. グループで案を出し合う。
3. 計測方法を決めたら、実際に壁画を調べてみる。
4. 計算結果と実際の数を比較して改善などを検討する。

〈 宗教 〉

聖書とイエスの生き方や教えを通して、キリスト教的価値観を学びます。アシジのフランシスコ、コルベ神父やマザー・テレサのような聖人の生涯に触れます。国際社会で共に生きるために、さまざまな宗教を理解し、平和について、生と死について考えを深めて行きます。生徒一人ひとりがかけがえのない存在であることに気づき、喜びを持って他者のために生きる生徒を育てます。



〈 理科 〉

授業では、なるべく多くの実験を取り入れ、自分の手で実際に実験を行うことを通して、理科に対する興味・関心を育てるようにしています。また、大学や科学館などでの「科学講座」を実施し、さまざまな分野の専門家の方に触れる機会を設け、広い視野を持てるようにしています。



〈 社会 〉

社会科では、善き社会人、善き市民の育成をねらいとしています。過去から現在の基礎的な事象を理解しながら、自らと事象との関連性を常に意識し、現在から未来の社会において自らを活かせるような視点を養います。そのために、基礎学力の定着および探究活動を通じて理解・思考を深め、社会的な鋭い問題意識を養い、社会の一員としての自覚を育てていきます。



〈 保健体育 〉

体育では、運動の楽しさや達成感を味わい、安全に留意しながら技能を高めていきます。将来、自ら体を動かし、健康づくりを意識した生活を送れるよう指導しています。保健では、健康に関する知識や技術を身につけ、日常生活で生かすことを目的としています。



〈 技術・家庭 〉

生活と技術についての基礎的な知識と技術を習得し、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養います。特に、生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、課題に対する解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどの実践的・体験的な活動に力を入れて取り組みます。身につけた力を、家族をはじめとする他者を支えるために積極的にいかしていくことのできる人を目指します。



〈 ICT 〉

生徒一人ひとりにタブレットを用意してもらい、基本的な操作や情報リテラシーを学びます。その上で、授業や課題作成など様々な場面で使用していきます。各教室にはプロジェクターが設置され、大画面でスライドや映像などを見ることが出来ます。授業では、担当教員の他にICT支援員が、生徒のサポートをすることもあります。





Charity

〈クラブ・委員会〉

～責任を背負うことの「意味」と「充実」を知る～

Student Message

Club

運動部

- 卓球部
- テニス部
- バスケットボール部
- バドミントン部
- バレーボール部
- 剣道同好会

文化部

- ESS
- 演劇部
- 家庭科部
- グリークラブ
- 軽音楽部
- 弦楽部
- サイエンスクラブ
- 写真部
- 書道部
- 美術部

課外活動

- 華道教室（草月流）
- 茶道教室（裏千家）
- 箏曲教室（生田流）
- インターアクトクラブ・小百合会
- カトリック研究会



5学年にまたがる
大所帯をまとめ上げるために工夫



高校3年
バドミントン部部长・
部長会会長
Mさん

バドミントン部は運動部の中で一番部員数の多い部活動です。5学年が一緒に活動しているので、レベルも部活に対する熱意も様々な中でまとめ上げるのがなかなか難しく、日々工夫しながら活動しています。男子の部員も増えていますが、男女、先輩後輩分け隔てなく雰囲気よく部活動に動んでいると思います。

インタビュー
動画がご覧
になります



愛に生きる人となるために

少人数（1学年2クラス）であるからこそ、一人ひとりがお互いを見つめ、みとめ合える環境があります。その中で生徒は、「愛に生きる人」へと成長していきます。

〈行事〉～みんなが輝くために、みんなで支える～

4 April	5 May	6 June	7 July
<ul style="list-style-type: none"> 入学式・始業式 新入生オリエンテーション 対面式 始業ミサ 授業参観 クラブ紹介 	<ul style="list-style-type: none"> 体育祭 聖母奉獻式 前期中間試験 生徒総会 	<ul style="list-style-type: none"> 校内英語弁論大会 芸術鑑賞会 	<ul style="list-style-type: none"> 前期末試験 終業ミサ イギリス語学文化研修（17日間） （中3・高1希望者）
8 August	9 September	10 October	11 November
<ul style="list-style-type: none"> 姉妹校（白百合）球技大会 関東地区カトリック校女子球技大会 	<ul style="list-style-type: none"> ヨゼフ祭 前期終業 	<ul style="list-style-type: none"> 始業ミサ ブリティッシュヒルズ宿泊研修（中2） 後期秋中間試験 	<ul style="list-style-type: none"> 追悼ミサ 九州方面修学旅行（高2）
12 December	1 January	2 February	3 March
<ul style="list-style-type: none"> 後期冬中間試験 卒業試験（高3） クリスマス行事 	<ul style="list-style-type: none"> 書初大会 立会演説会・投票 創立記念行事 ニュージラントチーム留学（高1・2希望者） コミュニティー・プロジェクト（CP）発表会 	<ul style="list-style-type: none"> 進路相談会 学年末試験 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会活動日 生徒総会 卒業式（高3） 関西方面修学旅行（中3） 卒業証書授与式（中3） 修了式

●…中学校の行事 ■…高等学校の行事 ▲…中・高共通の行事

PICK UP School Events



校内英語弁論大会

生徒が日ごころの学習成果を発信する行事の一つとして、英語弁論大会があります。オーディションを経て代表を勝ち取った生徒は、それぞれ教員からマンツーマンの指導を受け、本番にのぞみます。「英弁」間近になり、学校のあちこちで生徒たちが表情豊かに英文を語る姿は、聖ヨゼフ学園の風物詩の一つです。

愛を育む学び 数値でははかれない力を育む体験が、ここにはあります。

Committee

体育祭



5月に行われる体育祭。体育祭実行委員が中心となり、すべての生徒がなんらかの係に就き、複数の競技に出場します。さらには、各学年の生徒が全員で作上げる学園名物「学年演技」を行います。全員が「主役」であるからこそ、本校で最もアツク盛り上がる行事となるのです。

学園祭



クラブや学年、課外活動、委員会、あるいはそういった枠にとらわれない様々な有志が集い、運営や各種の公演・企画をおこないます。いらっしゃった方々に楽しんでもらい、さらに自分たちもおおいに楽しむ。そういった確固たる意志を持った生徒一人ひとりが主体的に動き、自分たち自身の力で作り上げていく。それが聖ヨゼフ学園の学園祭「ヨゼフ祭」です。

Student Message

勝負よりも
みんなで楽しむ体育祭に

男女共学化になったことで、これまでよりもどんな競技を実施するかプログラム決めが難しくなりました。男女での体力の差なども考慮しながら全体でバランスよく調整することが大変です。2024年度の体育祭は、勝負より楽しさを重視したいと考えています。男子も女子もみんなで楽しむことができる体育祭にしたいと思います。

高校3年 体育祭実行委員会 委員長 Fさん



ピンチをチャンスに変えて挑戦!

2023年度のヨゼフ祭のテーマは「CHA CHA CHA (チャチャチャ)」でした。「Challenge Chance To Change」という意味が込められていて、それぞれの頭文字をとっています。今年から企画がクラブ主体に変更になったため、前例がなくほとんどゼロからのスタートでした。そんなピンチをチャンスに変えて挑戦しよう!という思いが込められています。

高校3年 ヨゼフ祭実行委員会 委員長 Yさん



Teacher Message



時間をかけて生徒一人ひとりに向き合う

教頭 武田けい子先生

生徒一人ひとりが抱えている背景を汲み取りながら、寄り添い関わることが「愛」なのではないかと考えます。思春期にある生徒たちは、学習や学園生活、人間関係において悩むこと、苦しむことが多くあります。その複雑に絡み合った事柄を解きほぐすには時間がかかります。聖ヨゼフ学園の教員は、生徒が自分で絡みあった事柄を解きほぐせるよう、話を聞き、声をかけ、10年後、20年後の幸せに繋がることを願ってその生徒にとって今必要なことを一緒に考えています。

インタビュー
動画がご覧
になります





〈 進路指導 〉

生徒と教員が、一人ひとりの適性を一緒になって見極め、適切な進路をともに見つける。そして、目標を見定めたなら、そこへ向かって生徒・教員が一体となって進んでいく。そういった、言ってみれば一人ひとりに合わせた「オーダーメイドの進路指導」を行っているのが聖ヨゼフ学園です。

進路指導・進学実績

自己を見つめ将来の道を探求し、自分にふさわしい未来を選択できる生徒を育てます。「オーダーメイドの進路指導」で生徒一人ひとりに向き合います。

〈 少人数授業 〉

小規模校の強みを活かし、特に高校2・3年生の選択科目などにおいて、少人数の授業を実施しています。毎年のように、教員1人に対して生徒が数名の授業が開講されます。マンツーマン（教員1人に対して生徒1人）となる授業も珍しくありません。また、授業によっては、一つのクラスを複数の教員で受け持つ「TT（チーム・ティーチング）授業」が実施されています。



〈 小論文個別指導 〉



現在、数多くの大学入試で必要とされる「小論文」。その他に「志望理由書」や「自己推薦書」、面接など、教科外で対策が必要とされる受験科目・書類について、マンツーマン、場合によっては生徒1人に対して複数の教員が個別指導にあたります。

インタビュー動画がご覧いただけます



Teacher Message

Student Message



大学進学や就職だけでなく幅広い選択肢をもって欲しい

進路指導部 部長 宮下玲子先生

生徒一人ひとりがどのような道に進みたいかということを引き出して、背中を押すことを進路指導では大切にしています。大学へ進学することが目標ではなく、将来どのようなことをしたいか、どのような大人になりたいかを考えた上で、その理想像に近づけるように、幅広い選択肢を持てるようなアドバイスをしています。聖ヨゼフ学園は少人数であるという強みを活かし、一人ひとりに手厚く時間をかけてその生徒に合った進路を考えています。

海外留学を通して幅広い視野をもって社会に貢献したい

卒業生 Wさん 上智大学 総合人間科学部 社会福祉学科 合格

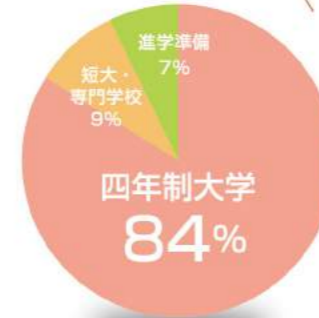
普段の生活で、外国の方に駅やお店の場所を聞かれた際、自分の思っていることをうまく英語で話すことができずに悔しい思いをした経験から、海外留学をしたいという希望を抱いていました。高校生になって受験を意識したときに、上智大学の充実した留学制度を知り、進学しようと決めました。大学では社会福祉について学ぼうと思っています。留学を通して広い視野を持ちながら、社会に貢献できる人になりたいです。

聖ヨゼフ学園高等学校 主な大学合格実績

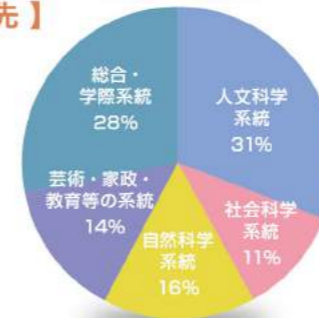
〈 進路実績 〉

【 進学比率 】

2023年度 卒業生数43名



【 大学系統別進学先 】



2024年度入試 主な大学合格者数 (卒業生43名)



指定校推薦について

上智大学（指定校・カトリック高校対象特別選抜）
白百合女子大学（姉妹校推薦・人数制限なし）

聖心女子大学（人数制限なし）、清泉女子大学、中央大学、
明治学院大学、玉川大学、東京医療保健大学、
東京農業大学、東海大学、東洋英和女学院大学、
フェリス学院大学、関東学院大学、立命館大学、
他多数

少人数だからこそ育める共感力
その力を海外に

私は現在、JICA（ジャイカ）という機構で国際協力の仕事をしています。在学中にフィンランド留学の経験ができたことなど、ヨゼフでの経験や生活が今の職業選択に大きく活かしていると感じます。また、何よりも今の自分を形成している共感力や他者を思いやる心は、ヨゼフでの学びが大きく影響しています。1学年2クラスという少人数の環境なので友達や先輩後輩、先生方とも非常に強い信頼関係が築けると感じています。

卒業生 深谷春奈さん
東京外国語大学 外国語学部 欧米第一課程英語専攻 修了
国際協力機構（JICA）入構

Graduate Message



インタビュー動画はこちらから



学校生活



放課後
15:35~17:30



昼食・お昼休み 12:20~13:05

広報委員がお昼の放送を担当し、委員会からの連絡や生徒からのリクエスト曲を流します。



一日の流れ



登校
爽やかにはじまる
聖ヨゼフ学園の朝



朝礼 8:15~



講堂朝礼(月1回)では、表彰などが行われます。英語朝礼(週1回)では、お祈りや聖歌などもすべて英語で行います。



午前の授業
8:30~12:20



午後の授業 13:10~15:00



終礼・清掃
15:00~15:35



最終下校 17:30

制服

〈冬服〉

〈夏服〉

〈夏季登校服〉

〈ジャージ・体操服〉



施設



聖ヨゼフ学園の施設が
動画で閲覧できます

